

2012年度冬季対策 振返交流会報告



4月13日、会津若松市労働福祉会館において「2012年度冬季対策振返交流会」を開催し、25名の仲間が結集しました。小檜山委員長の挨拶の中で「雪害で苦勞している組合員の所に支部が足を運ぶ、雪害の実態は雪害が起きているところで掴む。基本にかえり支部でも、異常時の実態交流を積み重ねてきて。今まで成果があったと思うのは、他系統の労働実態が他系統が実態を理解し共有することが出来るようになった。少しづつ積み上げてこれたと思う。雪害の状況を見ると、働いている人はもちろんですが、利用している乗客を含め苦情が絶えない。これは、会社の弱点でもあるし、なんととしても、我々の働く条件を変えていきたい」と挨拶があり、菊池業務部長の進行で交流会を開催しました。

歌川副委員長より「冬季対策の成果点」報告

●歌川副委員長より、冬季対策の成果点として報告がありました。1点目は道路の除雪。磐西線沼上。これまで冬季に道路除雪が行なわれなかったのが今年行われた。また、若松電力・信通メセ事務所協の市道から運輸区までの道路除雪が今回行われた。この2箇所の除雪について前進があり確認したい。団交で交渉して行く。会社側は成果としてやる。また、振り返りの会議は会社でもやっている。検証する態度でやっている。最近の会社の態度は東労組優遇とはならなくなっ

キチンとした要求を出していけば会社は対応するようになる。踏切鳴動時等の団体交渉では、大根原踏切事故で社員2名が懲戒解雇になった以降、信通社員が現場に行つた場合、第三者加害が予想される極めて厳しい労働条件で対応されられている実態がある。団交の中で2点ほど改善があった。1点目は、仙台輸送指令一括で対応していたのが地元の輸送指令で対応が可能になった。通達文書仙施総3636号で出た。2点目は、取り扱いが3つの判断に加え

列車安全運行させるための除雪の実態

●Aさん(仙建出向) 今年も例年になく大雪だった。週末に雪が降る状況が続く。金、土、日とロモがフル稼働すると要員的に(仙建)人が足りなくなる状況が続いた。大雪に限ってマールヨで出勤し、翌日の昼過ぎまで10数時間のロモ乗務も何日か続いた。翌日、日勤のはずが交代要員で乗務する事もあった。

●Bさん(只見駅) ビックロモ、ラッセルが通ったあと雪の壁が出来雪を線路の外に排雪するのは無理で、走ったあと雪玉を作ってしまう列車が雪玉を抱いて列車が停ってしまう。只見線では続いていく。こうした理由でビックロモ走行は止められたの要求にな

っている。

●Cさん(仙建出向) ビックロモでやるのは、本社の方も性能・機動が悪いと分かっているが、1台2億円以上かけて製造。稼働率を上げるため各現場に指導しているよ

●Bさん(只見駅)

仙建の作業員の人たちは休みなしで除雪作業している。若松駅構内で大雪の時直轄除雪やっていたが保技セに機械除雪を要請したが人がいなくて出られないといわれた。我々からすれば、冬は若松地区は冬は雪があるものとして大雪、小雪にかかわらず要員配置を考えなければならぬと思う。宮下駅のポイントはかなり雪をほる。圧雪だからプルラスチックのスコップが固くて折れそうになる。社員とか人夫さんがやる。ビックロモだとそのまま押しつけてポイントに落ちる。雪でポイントが真っ白になつてしま

●Dさん(郡山信号所)

郡山では、磐西線でまた列車が止まった。今、ビックロモ走ったばかりなのに、何で?と、なっている。

●Eさん(仙建出向) 列車を動かしている分には止まらないで走っている。2時間とか3時間とか止めると雪が降り積もり列車で押しきれなくなる。遅れても列車が走っている分には運休がない。

●Fさん(郡山)

無人駅に除雪要員がいなくてもいい。スルー化の要求は、磐梯熱海と猪苗代と磐梯町に要員をおき交換する。泊り勤務がないので一交勤務で要員配置の要求。

●Gさん(若松信通メセ)

沼上の国道からの除雪がスムーズにできた。今年2回沼上の除雪に行った。今年で49号から雪中行軍しなければならなかったのが現地で車で行くことができた。10年前の要求が実現した。また、メセ協の除雪も今まで何でやってこなかったのか。運輸区が一番利

●Bさん(只見駅)

駅で困るのは自分も情報がないこと。1時間経ったあと本当に動くのかかわからない。バス代行の手配も若松対策本部とかサポセとかに打ち合わせしてからとなる。客は目の前で騒いでいる。逃げる場所がない。列車運休させたとしても快速でなくても各駅停車の列車を1時間に1本とか確実に走らせたほうがいいと思